



川北遺跡

バイパス送水管（藤井寺～長吉）整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書



出土土器



出土石器

価 格：309 円（税込）

送 料：300 円

刊行日：2013 年 12 月

判 型：A4

頁 数：本文 50 頁、写真図版 42 頁

重 量：445^g

川北遺跡では、今回の発掘調査で、古代から中世にかけての遺構面を検出しました。中でも、古代の水田面を3面検出したことから、その間に数度にわたる流水堆積に見舞われながらも、稲作を行っていた様子が窺われました。

また、古代の流水堆積層の中からはコンテナ 50 箱以上の遺物が出土しました。それらは、縄文時代から古代までの様々な時期のものがあり、そう遠くない場所から流れ着いたものと思われます。

その中でも、小片ではあるが獣面文瓦が出土したことは、特筆できるものです。

さらに、60 点以上におよぶ石器とともにサヌカイト剥片などがコンテナ 3 箱出土し、ほとんど摩耗していないことから、近くに石器製作跡があった可能性を指摘できます。